

世界に目を向け地域に根ざした教育を進めるGLOCAL SCHOOL
平成30年度南浜中学校教育ビジョン

当校の課題

- 基礎・基本の定着が十分でない生徒がおり、個人差が大きくなっている。
- 家庭学習習慣が十分に身に付いていない。
- 生徒数が減少する傾向にある。
- いじめのない学校づくりのため、学級経営力の向上と人間関係づくりを強化する。
- 指導上特別な配慮や支援が必要な生徒がおり、その対応が必要である。

教育目標

深く考え 心豊かに 実践する生徒

教育関係法規
 学習指導要領
 新潟市教育ビジョン
 新潟市学校教育の重点等

目指す生徒像

- 夢や目標をもって粘り強く努力する生徒
- 仲間と協働し、共感しながら活動する生徒
- 地域に愛着をもち、地域に貢献する生徒

合い言葉は

- 持ち味とチャンスを生かし一人一人が輝く
全員主役の学校
- 3C (Challenge, Change, Comfort)
1UP～普通のレベルを上げる～

働き方改革をベースに

確かな学力の向上を図ります

1UP 生徒の学習意欲を高め学力の向上を図る

- 新潟市の授業づくりに基づく「振り返り」のある授業の推進
- 授業とつながった家庭学習の習慣の育成する取組の推進
 → SHINKA タイム
- 道徳授業の時数確保と「考え、議論する道徳」への質的転換
- 新学習指導要領の趣旨を理解し、「主体的・対話的で深い学び」を導く学習過程の工夫

豊かな人間性を育みます

1UP 生徒の自尊感情を高め、社会性を育む

- 一人一人の特性を生かし活躍する場面を設定することによる、自己有用感や自己肯定感を高める活動の展開
- Q U等を生かした学級経営力の向上と望ましい人間関係づくりの推進
- 生徒の丁寧な見取りと情報の共有、組織的対応によるいじめの早期発見と即時対応
- 生徒会を中心にした「絆プロジェクト」の推進
- 新潟水俣病を中核にした人権教育の推進

個に応じた特別支援教育を推進します

1UP すべての生徒に優しい学習環境の確立を進める

- 全校体制での適切な支援に向けた、生徒一人一人の教育的ニーズを把握、保護者との合意に基づいた合理的配慮の提供
- ユニバーサルデザインによる授業、教室環境の整備の推進
- 関係機関との連携強化

<達成基準>

- ・アンケートの「ふだんの授業では、最後に学習内容を振り返る活動をしている」の項目の「あてはまる」の評価が80%以上になる。
- ・アンケートの「宿題以外にも自主的に家で勉強している」の項目の「あてはまる」の回答が、7月調査よりも11月調査の方が上回る。

<達成基準>

- ・アンケートの「先輩や仲間と関わることを通して、学ぶことがあった」の項目の肯定的評価が80%以上になる。
- ・アンケートの「地域の大人とあいさつしたり、ことばを交わしている」「学校で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしている」の2項目の肯定的評価が、どちらも80%以上になる

<達成基準>

- ・「南浜中スタンダード10」に対する職員の自己評価のうち、肯定的評価が80%以上になる。
- ・アンケートの「授業に集中できる環境であるか」の項目の、生徒の肯定的評価が80%以上になる。

健康・体力・生活習慣

1UP メディアコントロールを中核に、基本的な生活習慣と体力の向上を図る

- 生徒に考えさせる内容での、スマホ・SNSの継続的指導
- 運動量確保に向けた、授業や部活動、その他の活動での工夫と実践

- 「早寝、早起き、朝ご飯」の推進と保護者への啓発活動の実施

「地域の学校」として連携

1UP 生徒の主体的な取組を中心とした、持続可能な活動の継続

- 学校における地域の学びの拠点づくりの充実
- 持続可能な形での地域と学校パートナーシップ事業を推進するための、大学、企業、団体を含む地域の人や施設との連携の充実
- 学校だよりやHPなどの情報発信による、教育活動への関心の喚起

校種間連携

- 9年間を見通した小中連携事業
 (南浜中学校区教育研究会)
- 学生との協働による人材育成支援事業

【社会に開かれた教育課程】